

令和2年度シラバス（地理歴史）

学番7 新潟県立新潟北高等学校

教科（科目）	地理歴史（日本史B）	単位数	4	学年	2	学科	普通科
使用教科書	高等学校日本史B新訂版（清水書院）	副教材等	図説日本史通覧（帝国書院）				
学習目標	①我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色について理解と認識を深める。 ②歴史的な事実の理解を深め、歴史的思考力を培う。						
指導の重点	①日本史の基本的事項と基礎的知識の習得をめざす ②日本史に対する興味・関心を引き出す。						
学 習 計 画 50分 時数計140							
月	単 元 名	学 習 内 容					時数
4 5	第1編 原始・古代 1. 日本文化のあけぼの 2. 古代国家の形成と東アジア 3. 律令国家の成立と都城	○気候や地形、動植物相の変化などの自然環境に着目し、人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を学びます。○集落立地、食料獲得方法と食生活の変化、富の蓄積、習俗や墓制の推移等の社会の変化を学びます。○小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について学びます。					18
6 7 8	4. 古代国家の推移と社会の変化 第2編 中世 1. 古代から中世社会へ 2. 武家政権の成立と鎌倉文化 3. 室町幕府と北山文化 4. 下剋上の社会と庶民の台頭	○平安時代初期に、律令体制の再建が進んだことを学びます。○唐文化を消化した新たな文化が発達したことを学びます。○藤原氏による摂関政治が始まったことを学びます。○地方政治が転換するなか、武士団の形成が始まったことを学びます。○院政のしくみについて学びます。○12世紀の保元の乱・平治の乱を経て、武家政権としての平氏政権が成立したことを学びます。○鎌倉幕府の成立過程とこの時代の武士の生活について学びます。○武家社会の成立や庶民の経済活動の活発化を背景に、新しい文化が広がったことを学びます。○鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱のなかで室町幕府が成立した過程について学びます。					28
9 10	第3編 近世 1. 中世から近世社会へ  2. 幕藩体制の成立と国際関係 3. 幕藩体制の展開と元禄文化 4. 幕藩体制の動揺と化政文化  第4編 近代1 明治期 1. 近世から近代社会へ	○大航海時代という世界史的背景のもと、日本に鉄砲やキリスト教が伝来したことを学びます。○織田信長・豊臣秀吉による天下統一の過程と、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について学びます。○江戸幕府の組織と大名統制、朝廷・寺社統制など、幕藩体制の特色について学びます。○鎖国政策による貿易統制と禁教という側面とともに交易が行われたことを学びます。○17世紀中ごろ、強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治に転換したことを学びます。○ペリーの開国要求で鎖国政策が転換され、日米修好通商条約の締結によって始まった貿易が社会に混乱をもたらしたことを学びます。○版籍奉還と廃藩置県によって天皇を中心とする統一国家が成立し、身分制度が廃止されたことを学びます。					29
11	2. 明治維新と立憲国家の成立 3. 日清・日露戦争と東アジア	○士族反乱の鎮圧後、自由民権運動が活発化し、国会開設の勅諭が出された経緯を学びます。○大日本帝国憲法の制定後、初期議会で展開された政府と民党との対立の推移を学びます。○日本と清の朝鮮へのかかわり方を学び、それが日清戦争をひきおこしたことを理解します。○帝国主義が広まり、中国分割が進められるなか、朝鮮・満州における利権をめぐる日露戦争がおこったことを学びます。○日本が朝鮮を植民地化した経緯を学びます。					20

12	<p>4. 近代産業の発展と国民生活 第5編</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第一次世界大戦と日本の社会</li> <li>2. 政党政治の発展と大衆社会</li> <li>3. 第二次世界大戦への道</li> <li>4. 第二次世界大戦と日本の社会</li> </ol>	<p>○日露戦争後の政治がしだいに民衆の要求に応えざるをえなくなったことを学びます。○第一次世界大戦期に日本が中国侵略を進めたことと、大戦景気が産業と民衆にあたえた影響を学びます。○昭和恐慌が深刻化するなかで満州事変がおこり、日本が国際的に孤立していったことを学びます。○政府の厳しい思想・言論統制が、軍部の台頭につながったことを学びます。○日中戦争が長期化するなかで国民生活が圧迫されたことを学びます。○日米開戦の経緯を学び、「大東亜共栄圏」に組み込まれた人々の抵抗や戦時統制が強化されたことを学びます。○戦局が悪化し、戦争終結への動きが停滞するなかで本土空襲による大きな被害がおこったことを学びます。○沖縄戦の経過と、多くの非戦闘員が戦場で犠牲になったことを理解します。</p>	15	
1  2  3	<p>第6編</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 占領下の日本</li> <li>2. 日本の独立回復と戦後政治</li> <li>3. 経済大国日本への道</li> <li>4. 現代の世界と日本</li> </ol>	<p>○GHQの指令を受けて進められた民主化および非軍事化の内容と経緯、日本国憲法の制定について学びます。○朝鮮戦争の勃発など東西冷戦が激しくなるなか、日本が独立を回復した経緯を学びます。○日米安全保障条約の改定された経緯を学びます。○朝鮮戦争をきっかけに立ち直り始めた、敗戦後の日本経済の動向について理解します。○国際社会が大きく変容するなかで、日本やアメリカと中華人民共和国との国交正常化が実現したことを学びます。○IMF体制の崩壊と石油危機により高度経済成長の時代が終わったことを学びます。○冷戦終結後、EUなどの地域統合・地域協力がめざされる一方、世界各地で地域紛争が多発していることを学びます。○バブル経済の崩壊後、日本では新自由主義的な構造改革が進められたことを学びます。○世界で進むグローバル化の意味をふまえ、世界の中で日本が果たすべき役割を学びます。</p>	30	
評価規準	<p>関心・意欲・態度</p> <p>日本史に関心と課題意識を持ち、その展開について意欲的に追究している。 授業に必要なものを持ってきている。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>日本史から課題を見出し、わが国の伝統・文化についての認識を深めるとともに、社会の変化を的確に捉えて判断できている。</p>	<p>資料活用の技能</p> <p>地図や資料を使い、情報を効果的に収集・選択し、歴史の展開を迫ることができる。</p>	<p>知識・理解</p> <p>日本史の歴史的な展開についての基本的な事柄を理解し、その知識が身についている。</p>
評価方法	<p>定期考査、課題提出、授業への取り組み、出席状況などを総合的に判断して評価を行う。</p>			
<p>担当者からの一言</p> <p>「私たちは何者でしょうか?」「なぜ、いま、ここにいるのでしょうか?」</p> <p>「日本」はどのようにしてここにいたっているのか? これから私たちは、どこに向かうのかを一緒に考えましょう。</p>				